

レプトスピラ症の発生動向【沖縄県：2022年】*

*データは2023年7月12日現在のものです、暫定値です。

感染症発生動向調査において、2022年^{*}に診断され、届出されたレプトスピラ症の情報を還元します。

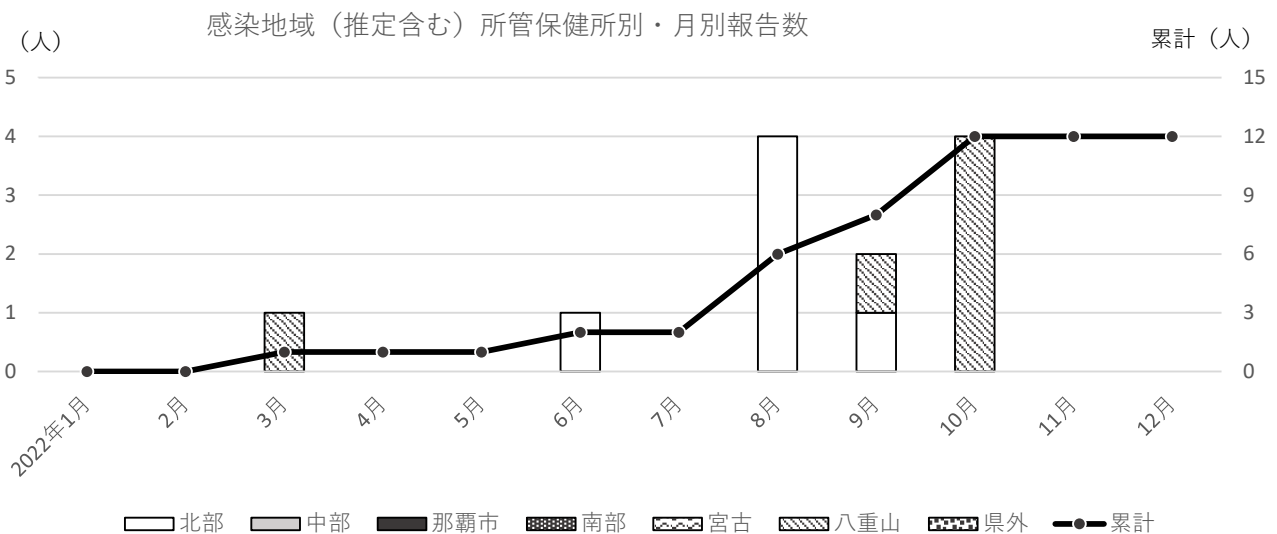
※疫学週によります。具体的な集計対象期間は下表のとおりで、診断日を基に集計しました。

| 所属年 | 集計対象期間 |
|-------|-----------------------|
| 2022年 | 2022年1月3日 ~ 2023年1月1日 |

(1) 感染地域（推定含む）所管保健所別・発生（診断）月別届出数

沖縄県における2022年のレプトスピラ症の届出数は12人で、3月、6月、8～10月に発生がありました。

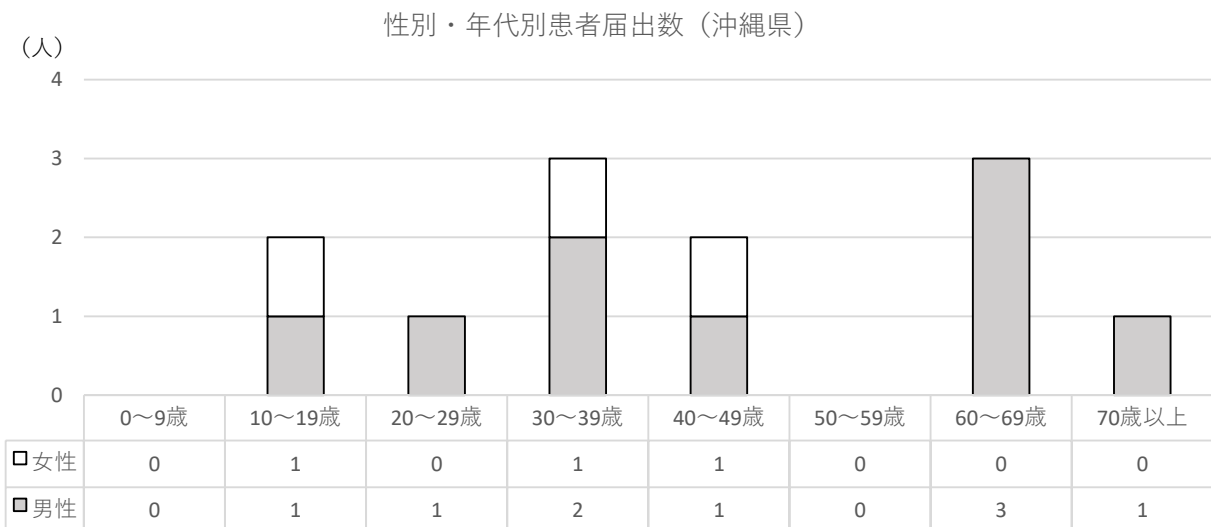
感染地域所管保健所別では北部が6人、八重山が6人でした。



(2) 性別・年代別届出数

届出された12人中、男性は9人(75%)、女性は3人(25%)でした。

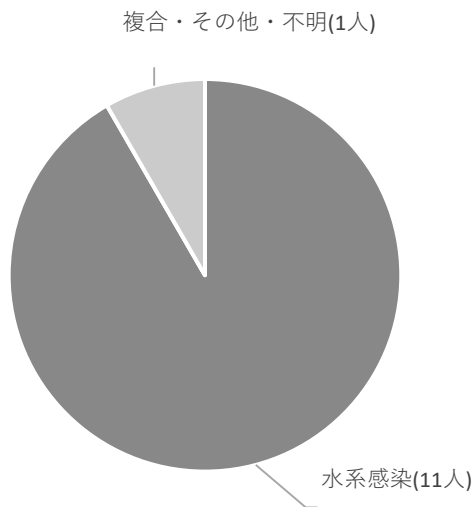
0～9歳、50～59歳を除いた各年代で届出がありました。



(3) 感染経路 (推定含む)

水系感染が11人、複合・その他・不明が1人でした。

感染経路



(4) 症状ありの割合

発熱 (92%) が最も高く、筋肉痛 (75%)、結膜充血 (67%)、蛋白尿 (58%)、腎不全 (50%)、黄疸 (33%) と続き、出血症状は報告がありませんでした。

その他の症状としては頭痛などの記載がありました。

症状ありの割合

